

■ 書 評 ■

マーティン神経解剖学 —テキストとアトラス

野村 巖, 金子武嗣 ● 監訳

三重大学名誉教授, 鈴鹿医療科学大学教授 中野勝磨

監訳者の野村・金子両教授がまえがきで述べているように, 最近の学生は簡便なテキストを好み, 記述の多い書物は敬遠しがちである。断片的な知識で満足することなく, 知的好奇心を高めるためにも, また脳画像を読み解く力を養うためにも, 医学・歯学だけでなくコメディカルの学生・スタッフの必読書として, 分子神経科学, 臨床神経学の所見も含み内容の充実した本書を推薦したい。

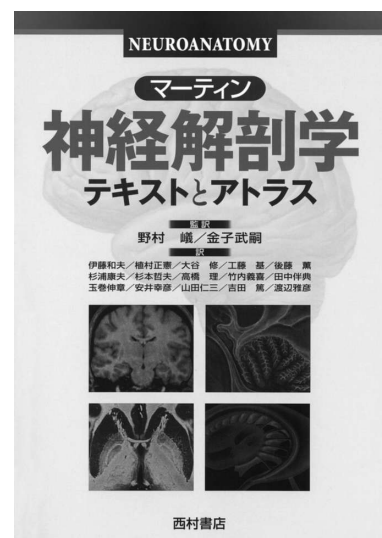
本書は, I. 中枢神経系の基本概念, II. 感覚系, III. 運動系, IV. 統合系, V. アトラスの5つの大項目に分けられ, 読者の理解のために工夫がなされている。

特筆すべき点は, MRI, CT, 機能的磁気共鳴撮像 (fMRI), 磁気共鳴血管造影 (MRA) などの説明が加えられ, さらに随所に脳画像が示されていることであり, それらは臨床疾患との関連性の理解に役立つであろう。学生からの質問が多い, 脳断面の定義についても簡明に解説されている。本書の原書は, 第2版から2色刷りとなり, 脳の血管分布がきれいに図示され, 特に髄鞘染色切片に描かれた血管分枝図は, 脳幹の血管の梗塞と神経回路との関連性および臨床症状の解析に役立つ。また, 発

生学的視点から, 脳神経核の柱状配列について詳細な説明がなされ, 脳の体性・鰓弓性骨格筋支配の各ニューロン群や, 自律神経性運動ニューロン群の位置関係を学び, 脳幹の構造を理論的に把握できる。

感覚系では, 感覚種について概説し, 各種の体性感覚路や内臓感覚路の局所解剖学的位置をきれいな脳幹立体図や髄鞘染色標本上に表記しているの, 神経回路の三次元における読者の理解と記憶を助ける。視覚系では, 局所解剖・機能的に詳しく述べられているが, 高次視覚機能については学生にはやや難解であるかもしれない。聴覚系でも聴覚の情報処理機構, 音源定位などに関しては, 内容は専門的であるが, fMRI 像は学生の興味を引くであろう。また, 嗅覚系では, 側頭葉と前頭葉の嗅覚領域が大変要領よくまとめられている。

運動系では, 前庭系と眼球運動の神経回路と機能について詳しく記載され, 大脳基底核の神経回路では, 直接系と間接系の機能とその病態生理について平易に解説されている。また, パーキンソン病に対する視床下核の深部刺激療法や, 小脳が視床を介して前頭連合野にも連絡し, 認知機能へも関与することなど, 最近



の知見も多く取り上げられている。

統合系では, 視床下部についてよくまとめられ, 自律神経系, 内分泌系への関与, さらに, 随意運動と内臓運動機能の関連など興味ある話題が多い。

アトラスでは, 見開き2頁に同レベルの髄鞘染色切片 (写真とシェーマ) を配するスタイルで多くの像を掲載していて, それらは本文に掲載した部分的な髄鞘染色像の全体像をすべて含み, 脳画像の読映に極めて有用である。

神経解剖学を学ぶすべての人に本書を座右の書としてお勧めしたい。

B 5, 488 頁

定価 5,985 円 (税 5 % 込)

[ISBN 978-4-89013-352-9]

西村書店刊